

個別避難計画作成の取組 (令和3年度矢掛町美川地区)

令和4年7月9日
岡山県危機管理課

矢掛町美川地区 (令和3年度)

○地区の概況

- ・人口 : 1,018人
- ・高齢者数 : 520人 (高齢化率 : 約51%)
- ・町要支援者登録台帳掲載者 : 82人 (町全体 : 533人)

[ハザード]

- ・土砂災害(特別)警戒区域(土石流・急傾斜)
- ・南海トラフ巨大地震により最大震度6弱の見込み

[地域性]

- ・昔からその土地に住んでいる者が多くつながりは強い。
- ・町社協を中心に1人を2人で見守る「目配り気配りネットワーク活動」に取り組む。



○平成30年7月豪雨災害

- ・土砂災害 半壊1戸、一部損壊11戸
- ・農地浸水 9.2ha
- ・橋梁被害 古屋谷橋、村上橋（内田）



内田地内古屋谷橋崩壊



土砂崩れ

- ・平成30年7月豪雨災害をきっかけに、防災に対する関心が高まる。
- ・一方で、自主防災組織は自治会、町内会単位で結成されるものの、その活動は消防用ホースの格納庫の整備などにとどまっていた。

<地区概要>

- 人口：1,016人（世帯数：415世帯）
- 作成主体：美川地区自治協議会
- 作成計画：個別避難計画

<モデル地区としての取組>

- 部会開催回数4回
- 検討の経過

- ・地図を使った災害図上訓練
- ・地図にハザードを重ね、危険箇所の確認
- ・計画作成を優先する対象者の選定
- ・個別避難計画及びタイムラインの様式検討
- ・個別避難計画の作成及び地域調整会議の開催
- ・避難訓練の実施 等

<個別避難計画の概要>

- 国が示す手順に沿って、要支援者9人について、福祉専門職が参画し、個別避難計画を作成
- 避難所まで距離を考慮し、車による避難支援

- ①本人（避難行動要支援者）
- ②介護支援専門員
- ③民生委員
- ④避難支援等実施者及び関係者（地域住民及び自主防災組織）



地域調整会議を開催し、要支援者の避難支援の手順等を確認する様子



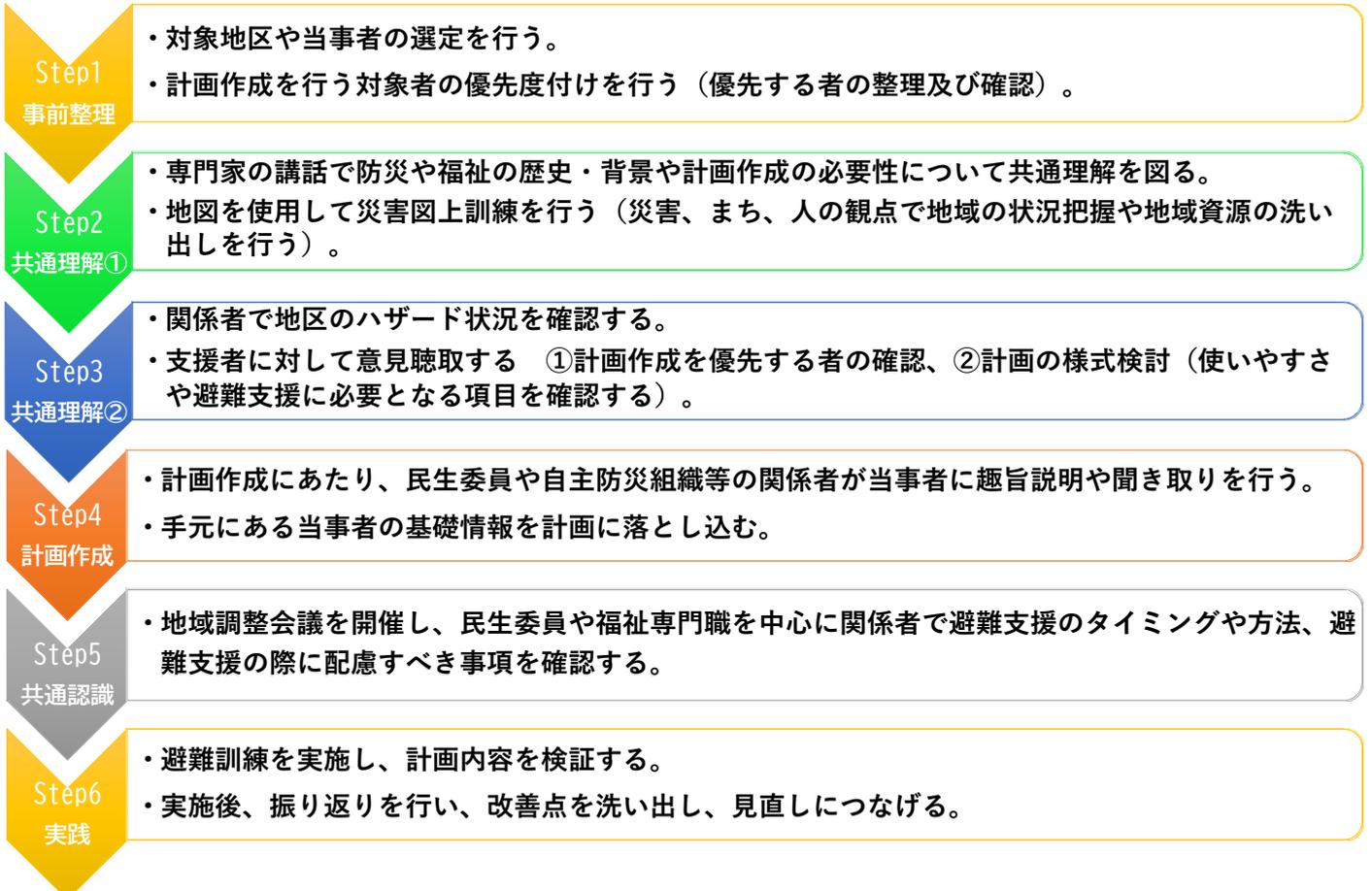
避難訓練の様子

○取組の流れ

部 会	進め方	内 容	参加者
第1回 (7/17(土))	現地視察 講話（防災・福祉） ワークショップ	共通理解 を図る → ①防災や福祉に関する基礎知識の習得 ②計画作成の進め方の確認 ③地区の状況把握（特性・強みや弱み）	地域住民（支援者）、自治会役員、自主防災組織、消防団、民生委員、社会福祉協議会、アドバイザー、自治体職員
第2回 (10/2(土))	ワークショップ	共通理解 を図る → ①地区のハザード状況の確認 ②計画作成を優先する者の確認（※） ③計画様式の検討（※）	上記と同様
第3回 (10/23(土))	ワークショップ	共通認識 を図る → 地域調整会議の開催（参加者：左記） 要支援者の避難支援に対する具体的方法 や避難の際に配慮すべき事項を確認	要支援者 、家族、 ケアマネジャー 、地域住民（支援者）、自治会役員、自主防災組織、消防団、民生委員、社会福祉協議会、アドバイザー、自治体職員
第4回 (12/11(土))	実動訓練	実践 する → 訓練想定を立てて、避難訓練の実施 （計画の検証）	上記と同様

※上記のほかに計画様式の検討や計画作成の優先度付けの整理（町）、要支援者に対する取組の説明や聞き取り（地区・町）、計画様式への基礎情報の落とし込み（町）等が行われている。

個別避難計画作成の進め方（矢掛町美川地区）



○第1回美川地区部会（7月17日（土）開催）

[基礎知識の習得及び地区の状況把握]

- ・モデル事業の概要説明
（岡山県危機管理課）
- ・講話① 災害時の要援護者支援
（川上アドバイザー（福祉））
- ・講話② 津山市城西地区の取組紹介
（佐々木アドバイザー（防災））
- ・町社協、地区社協の取組紹介
（矢掛町社会福祉協議会）
- ・ワークショップ
地図を使った災害図上訓練（DIG）
（中井アドバイザー）
[狙い] 災害、まち、人を知る

災害図上訓練（DIG）
災害（Disaster）のD、
想像力（Imagination）
のI、ゲーム（Game）の頭
文字を取って名付けられ
た災害想像力ゲーム



○第2回美川地区部会（10月2日（土）開催）

[ワークショップ]

- ①地区のハザードの状況確認
→ 地図にハザードマップを重ね、個々の世帯のリスクを確認
- ②計画作成を優先する対象者の選定
→ 町（防災・福祉）及び県において、事前に避難行動要支援者名簿掲載者の中から当事者の心身の状況とハザードの状況等を考慮し、真に支援が必要な者の洗い出し（優先度付け）を実施し、参加者に意見聴取
- ③個別避難計画の様式検討
→ 様式案について、参加者から項目や使いやすさなどを確認



○第3回美川地区部会（10月23日（土）開催）

[地域調整会議の開催]

- ・ 矢掛町個別避難計画の様式説明（矢掛町）
- ・ マイ・タイムラインの説明（矢掛町）
- ・ 個別避難計画の作成の流れ（地元）

[意見交換・講評]

- ・ ご近所の安否情報は複数名体制でバックアップや情報共有を図っておくこと。
- ・ 避難時の持出品は、避難袋、補聴器、薬、着替え、杖、その他に・・・
→ リスト化が必要
- ・ 雨が降り続いたときの川の音が怖い
→ 避難のスイッチ
- ・ 地元の民間企業等にあらかじめ災害時の支援をお願いしておく必要がある。



- ①本人（避難行動要支援者）
- ②介護支援専門員
- ③民生委員
- ④避難支援等実施者及び関係者（地域住民及び自主防災組織）



○第4回美川地区部会（12月11日（土）開催）

[避難訓練の実施] [訓練の振り返り・これまでの取組内容の共有]

■対象者

8人 うち男2人、女6名（うち一人暮らし6人）（90歳代1人、80歳代6人、70歳代1人）

■訓練想定

大雨（山崩れ等による災害発生の危険性）

■避難先

指定避難所 美川小学校

■内容

- ・ 避難行動要支援者の避難
- ・ 地域住民による要支援者の避難支援
- ・ 避難所における避難者の受付及び誘導

■参加者

避難行動要支援者、要支援者の家族、下高末・宇角自主防災会、地区住民（避難支援実施者）、消防団、介護支援専門員、民生委員、矢掛町総務防災課・福祉介護課、矢掛町社会福祉協議会、岡山県地区防災計画等作成推進協議会アドバイザー、岡山県危機管理課等

矢掛町美川地区（令和3年度）

○第4回美川地区部会（12月11日（土）開催）

要支援者自宅 → 避難所（美川小学校体育館）



矢掛町美川地区（令和3年度）

○第4回美川地区部会（12月11日（土）開催）

避難所（美川小学校体育館）

